

第36回「法人会全国青年の集い」沖縄大会参加報告

青年部会長 松浦 亮秀

令和4年11月24日と25日、「ゆいまーる 未来をまもり、拓く」を大会スローガンとして、第36回法人会全国青年の集い沖縄大会が沖縄市体育館および沖縄アリーナで開催され、久しぶりの通常開催という事で、全国440単位会会長をはじめ多くの会員が沖縄の地に集まり、鳴門法人会からは4名が参加いたしました。

24日は租税教育活動と健康経営大賞のプレゼンテーションが実施され、全国各ブロック代表の様々な事例発表を見聞し、その後部会長ウェルカムパーティーが開催されました。

25日は午前中から部会長サミットと会員交流分科会が実施され、部会長サミットでは「部会員増強と会の活性化」をテーマに80分の円卓会議をし、小規模単位会の増強課題など活発な意見交換がなされました。

午後からは「財政健全化につながる！健康経営の実装と実践」をテーマに千葉大学医学部附属病院特任教授の吉村健佑の記念講演があり、現在全国法人会連合会で推進している「財政健全化のための健康経営プロジェクト」に沿った貴重なお話を伺った後、大会式典に移り、24日に行われた租税教育活動と健康経営大賞のプレゼンテーションの表彰式・各最優秀賞の事例発表が行われました。

本土復帰50周年の沖縄の地で、3年ぶりの通常開催で行われた全国青年の集いに参加した感想として、久しぶりに会う方や初対面の方と対話をし、実際に会って話すという事がどれほど大事な事か、リモートでは感じにくい熱というものを体感したように思います。

コロナ禍の中、この大会を準備し大成功に終えた沖縄大会実行委員の皆様には本当に感謝の意を表します。

会員交流分科会参加報告

青年部会副部会長 三居 誠

令和4年2022年11月25日沖縄市武道館にて会員交流分科会（租税教育活動編）に参加してきました。

最初佐賀大会の最優秀発表の佐賀法人会さんの活動内容を聞き、生徒たちに税について自分事のように考えてもらうのが大切という事を学びました。

その後グループに分かれてディスカッションを行い、今の租税教室の課題などについて話し合いました。

大体の単会はやっぱり最終的に会員拡大が必要という意見になり、会員拡大はどのようにすればいいのかで、いろいろな意見が出ました。

まず楽しい部会でなければ会員増えないという意見でした。

会員がいなければ租税教室の講師もいなくなり、継続が厳しいという事にもなります。

今後若い会員の拡大が大切です。

以上がグループディスカッションの内容になります。